

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

2枚以内にまとめる。短い文で簡潔にまとめる。 各教科ひとつずつでもよい。数値を示すなど、具体的に。

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読むことの到達度 80%以上となっているが、自分の意見を発表することを課題としている児童が多い。 ○漢字の定着に差がある。（到達度 30%～100%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをノートに書く機会を多く設ける。また、意見交換の場を設定して、自分の意見を発表することに慣れるようにする。友達と意見交換をするなかで、自分の考えに自信がもてるようにしていく。 ○学習した漢字を使うようにする。漢字テストを週に1回行うことで、漢字の定着を図る。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の知識としての定着度は高いが、思考力や表現力を働かせる場面での活用力に差がある。（到達度 57%～100%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの生活との関連付けを意識し、関わる人々の思いを想像したり、自分たちにできることは何かを考えたりする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験に取り組む意欲は高く、到達度が75%以上となっている。だが、予想を立てたり、考察したりする、自分の考えをまとめることを苦手としている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を確認するとともに、自分の経験を振り返りながら予想を立てるようにする。 ○意見交換の機会を設定する。予想や考察、その根拠について話し合うことで、自分の考えをもてるようにするとともに、自信がもてるようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体育に対する意識に大きな差があり、意欲的な児童と意欲的になれない児童に分かれてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての児童が運動の面白さや達成感を味わい、楽しみながら運動に取り組めるように、習熟度別に場を設定したり、スモールステップで達成感を味わったりできる指導計画を作成する。 	

<p>学習の時間 総合的な</p>	<p>○意欲的に活動できるが、まとめることや自分の意見をもつことに課題が見られる。</p> <p>○パソコンの操作速度に個人差がある。</p>	<p>○分かりやすくまとめられるように、国語等の既習事項を確認したり、見本などを提示したりしてまとめる方向を知らせる。</p> <p>また、自分の意見をまとめる時間を十分にとる。</p> <p>○調べ学習で検索エンジンを使って調べ、パワーポイント等を活用してまとめたり、発表したりできるようにする。</p>	
-----------------------	---	---	--